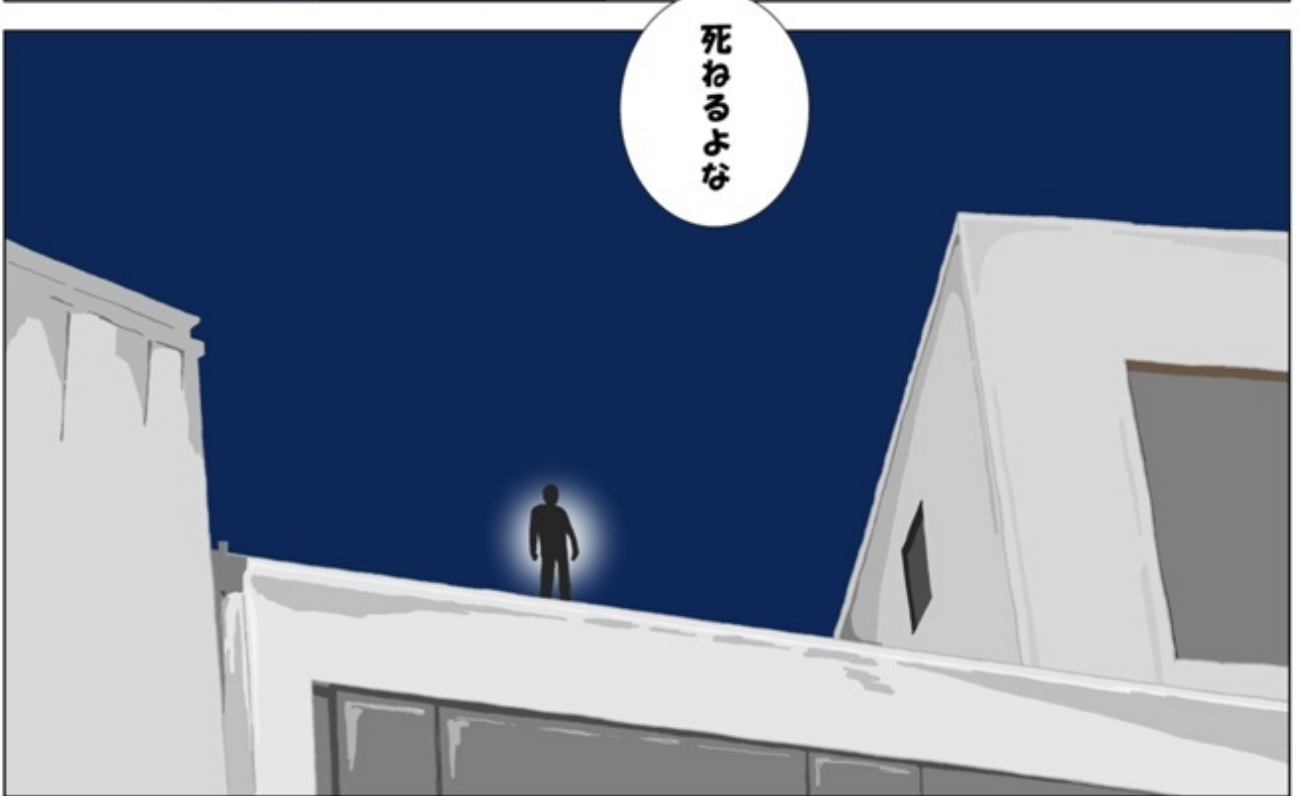




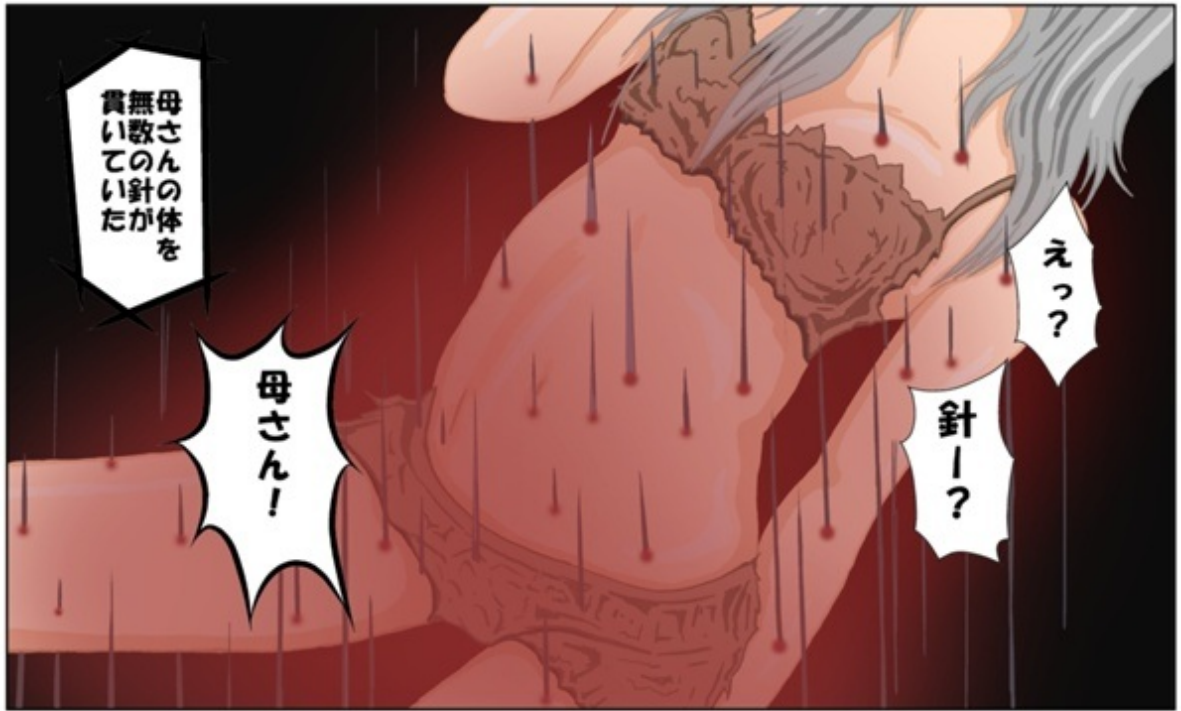
ひ てん
飛 天

夏野 海









母さんの体を
無数の針が
貫いていた

母さん！

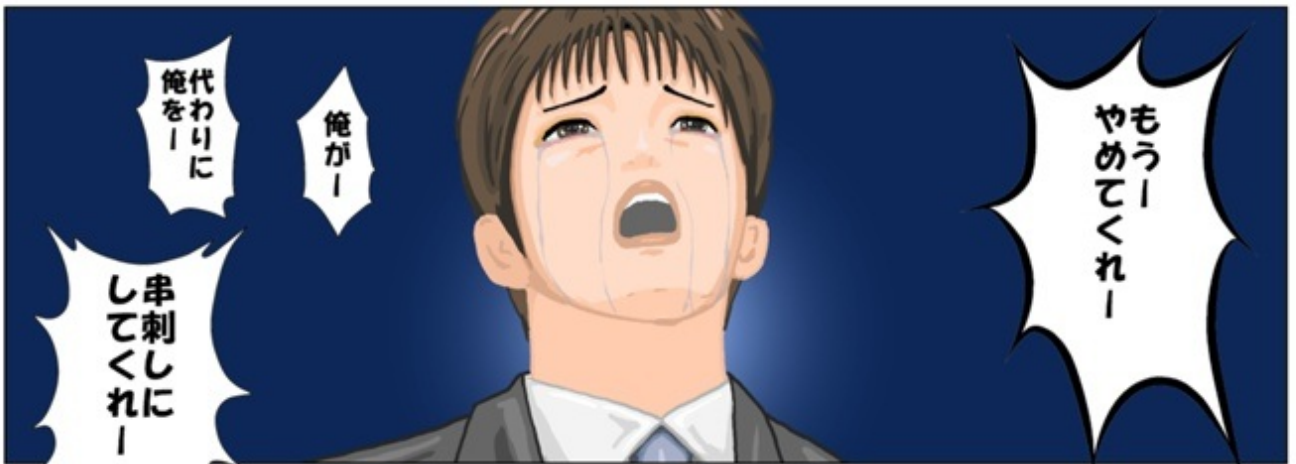
針ー？

えっ？



ああーっ

母さんー

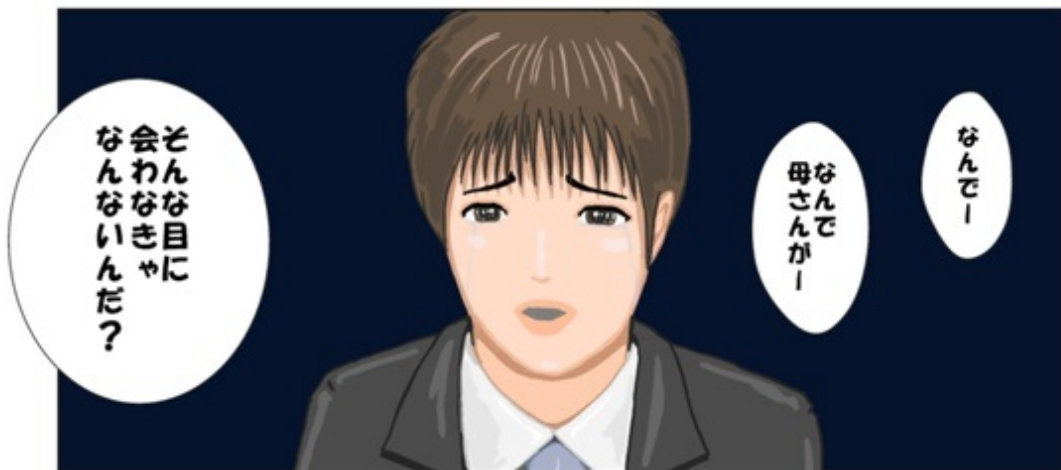


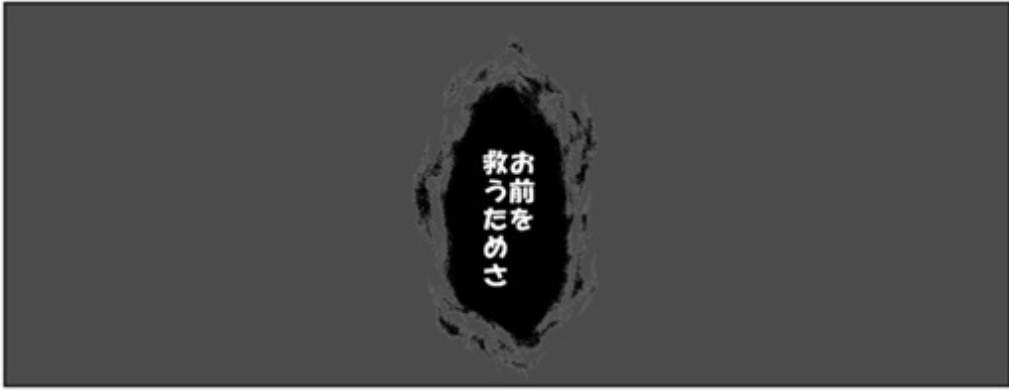
もうー
やめてくれー

俺がー

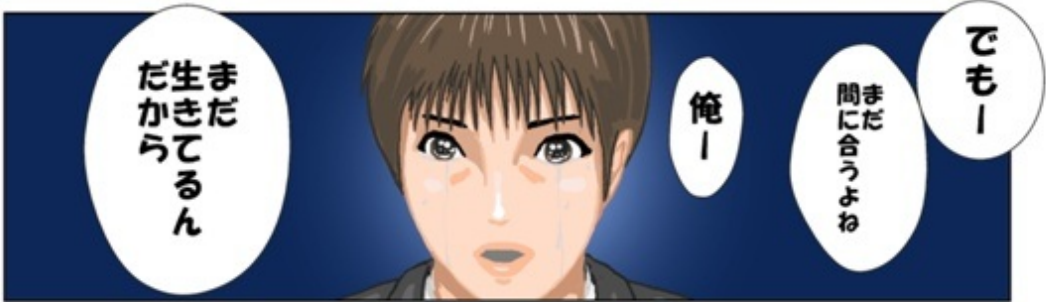
代わりに
俺をー

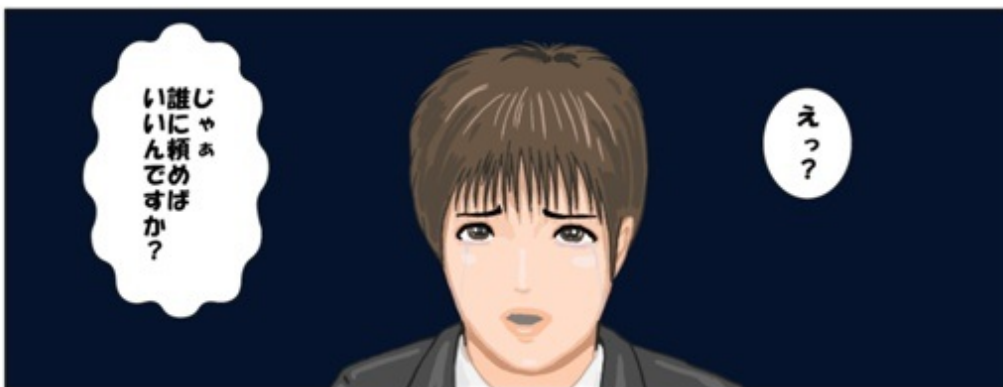
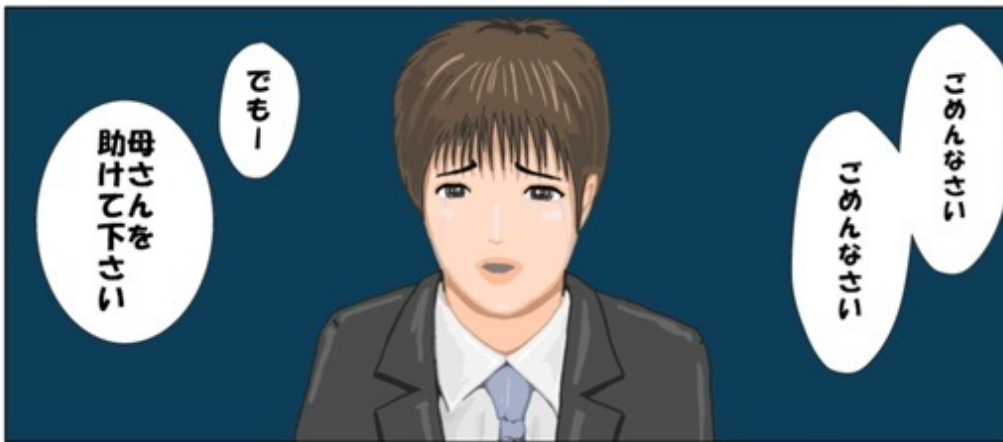
串刺しに
してくれー

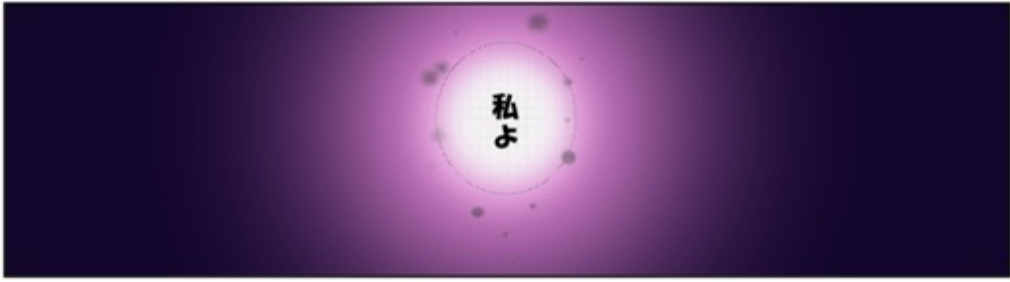














で試練：
ですか？

何ですか
試練：
って？



一日一回…

「感謝される事」



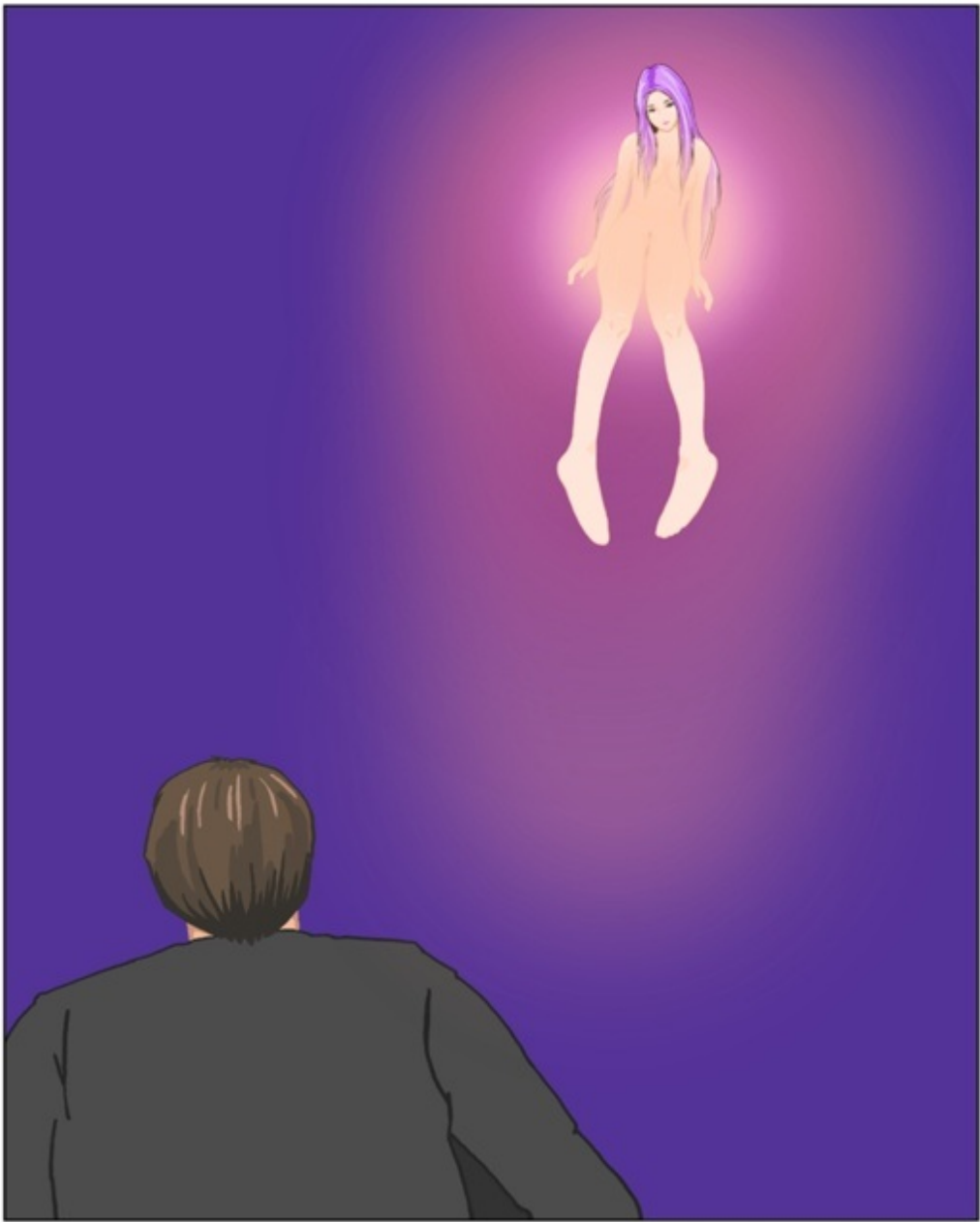
感謝！
される事？

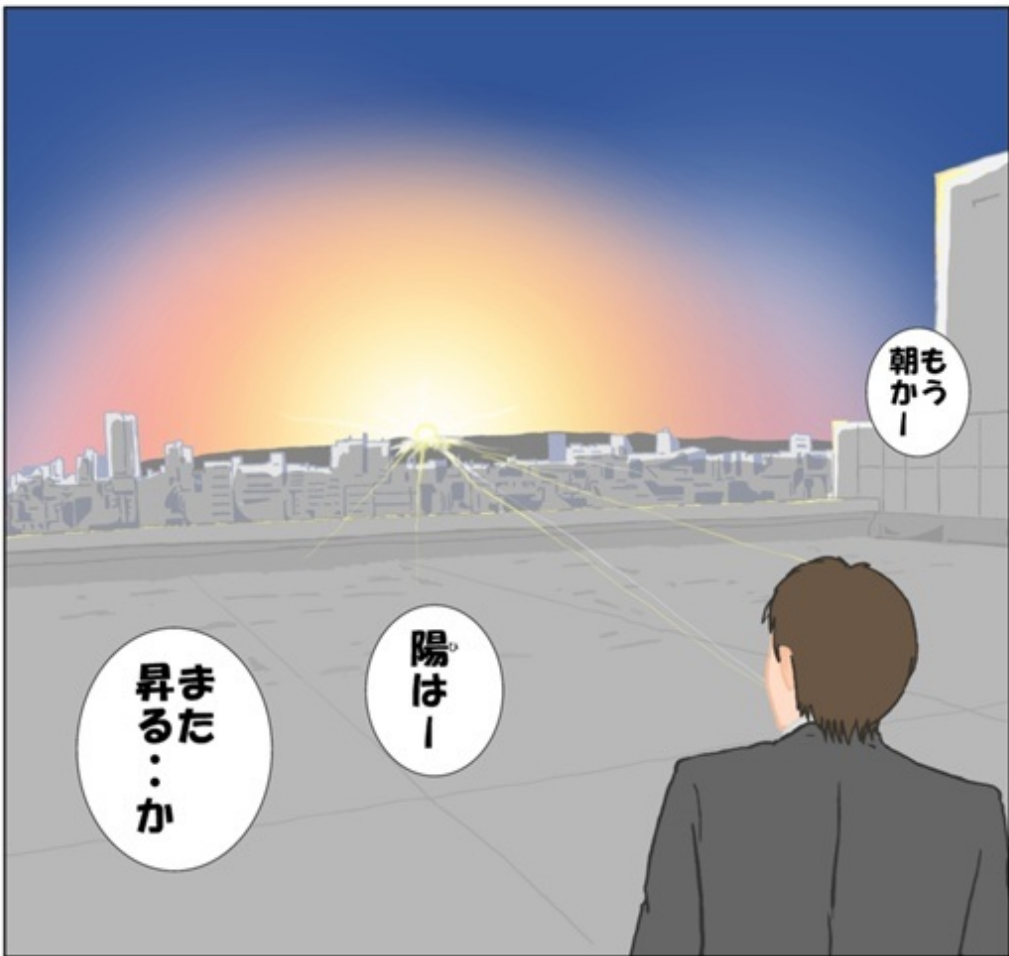
わかりました！



この世で
生命の火が
灯った
からには！

それが
燃え尽きるまで
一杯
生きるのよ







とりあえず…
おしまい…です

飛天

<http://p.booklog.jp/book/18366>

著者：夏野 海

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/natunoumi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/18366>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/18366>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.